

平成29年度 第3回 大阪市立十三中学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立十三中学校
校長名 森 健

日時	平成30年3月16日(金) 19時00分~21時00分	
場所	ミーティング ルーム	
出席者	委員など	中瀬 敏和(会長) 中村 隆樹(副会長) 脇 順子(委員) 西岡 和昭(委員) 山口 一二三(委員)
	校園	森 健(校長) 吉田 直史(教頭)
	区役所	昇 辰雄(生活支援課 課長代理) 福田 恵(市民協働課 係長)
議題	(1) 区役所より (2) 学校より報告・説明 (3) 討議 案件①「運営に関する計画」について ②「学校の現況」について[非公開] ③その他	
協議要旨	協議の結果 (1) 区役所より資料を使用して説明 ①「第3回学校協議会」について ②「全国体力テストの結果」について ③「学校安心ルールの進捗状況」について ④「淀川すいみん白書」について ⑤「その他」について •子どもの見守り放送のリニューアル •学校協議会委員研修 (2) ◎「運営に関する計画・自己評価(最終評価)」について (3) ①子どもが安心して成長できる安全な社会(学校・家庭・地域)の実現 •いじめ対策委員会の定期および臨時開催	
	意見の概要	

	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートの実施（学期末） ・不登校生徒に対する教職員の共通理解と保護者との連携 ・保護者へのきめ細かい連絡 ・主任児童委員および保護司との連携 <p>②心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エブリデイホームワーク導入後3年満了となり、生徒にも抵抗なく受容されている。 ・道徳教育について、「いじめのない思いやりあふれる集団育成」を目標に取り組んでいる。教職員は生徒に寄り添い、道徳的感性を高める。 ・健康および体力の増進について、朝食の摂食率や睡眠時間の確保が重要アイテムとなる。区役所と連携して保護者への啓発活動を進展させる 	<p>*いじめアンケートを今後も継続し、万一事案が発生した場合は、学校組織として対応を望みます。</p> <p>*学校組織の問題として捉え、保護者との連絡・連携を丁寧に実行して欲しい。学年ごとの不登校生徒数を教えて欲しい。</p> <p>*丁寧かつきめ細かい対応を心掛けて欲しい。</p> <p>*地域における会合で情報共有を継続して欲しい。</p> <p>*生徒は真剣に取り組んでいるだろうか。学力向上させる学校方針を生徒に認知させる必要がある。認知の度合いを指標で示す必要がある。数値に捉われず、教育の本質を見失わないで欲しい。</p> <p>*道徳の時間だけでなく、教育活動全体を通じて望ましい集団育成を図って欲しい。</p> <p>*『淀川すいみん白書2017』を保護者にさらに周知徹底し、睡眠の重要性を認識してもらう必要がある。学校は今後も区役所との協同体制を推進して欲しい。</p>
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> *「平成29年度 運営に関する計画・自己評価（最終評価）」 *「平成29年度 運営に関する計画・自己評価（最終評価）」の添付資料 <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状 ・児童生徒等の問題行動等生活指導上の諸問題に関する調査の結果明らかになった現状 ・中学校のあゆみ（チャレンジテスト・統一テスト・英検IBA） *「平成31年度 新入生対象 体操服変更」について 	
備考	傍聴者[2]名	

